

# 保健産業事報

発行所  
株式会社保健産業事報社  
〒171-0022  
東京都豊島区南池袋3-14-5  
TEL (03)3988-1899  
FAX (03)3988-3484  
E-mail  
hjs@y6.dion.ne.jp  
購読料1ヶ月郵共6000円

## 「第92回医療機器学会大会」

### 産学連携で新たな医療技術開発へ

日本医療機器学会(東京都文京区)は6月29日(休)から7月1日(休)の3日間を会期に、神奈川県・みどり市のパシフィコ横浜で「第92回日本医療機器学会大会」(大会長 加納隆・滋慶医療科学大学院大学教授)を開催した。今大会は「新たな医療技術との出会いを求めて」をメインテーマに、シンポジウムや講演会など多彩なプログラムが展開され、期間中、学会員ら約2100人が聴講に訪れた。また、大会併設の「メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ2017」には3日間約1400人が来場し、にぎわいをみせた。

大会第1日目の6月29日にはマネジメントシンポジウムや同セミナー、実践ME技術講習会が開催され、同学会が認定している臨床ME専門認定士、滅菌技術師・士、MDIC医療機器情報コミュニケーションなどが会場を訪れ、熱心に各講師の話を耳を傾けていた。

2日目の6月30日に学術大会が本格的にスタート。午前8時55分に「開会の辞」に立った加納大会長は「今大会の開催に向け、昨年



上から「学術集会」会場、メディカルショー開会の「テープカット」、「テーマ展示」のオールジャパンによる手術室、「展示会場」の様子



## 「医療技術との出会いを求めて」 加納大会長が「大会長講演」



加納大会長

第92回日本医療機器学会大会の加納隆大会長は、大会2日目の6月30日午後2時から「新たな医療技術との出会いを求めて」産学連携による製品化への道」をテーマに「大会長講演」を行った。

講演2題、教育講演2題、ランチョンセミナー4題、一般演題139題などのプログラムを展開した。

今大会では、医療機器の最新課題である医療機器ソフトウェアや単回使用医療機器(SUD)を題材にした内容をはじめ、医療安全に向けた内視鏡手術関連機器の安全管理や洗浄・消毒・滅菌の外部委託、熊本地震を経験しての災害対策、トレイサビリティにUDI活用などがテーマに取り上げられ、参加

者間でテーマごとに、課題への対策や今後の方向性について討議を繰り返した。

## 「メディカルショー」併設

### 国産品で企画展示「手術室」が好評

一方、大会併設の医療機器展示会「メディカルショー」も、パシフィコ横浜の「展示ホール」で行われた。加納大会長は「このあと、大会では2日間わたり、4つの会場を使い、シンポジウム7題、大会長講演(別掲参照)、特別講演2題、教育講演2題、ランチョンセミナー4題、一般演題139題などのプログラムを展開した。」

医療技術、医療機器をゼロから創出するのは容易ではないが、すでにある医療機器を改良し、より安全性の高いものにする。このこと、医療分野以外の技術を医療に適用して、今までになかったような機器・システムを製造化することなどの方が可能性は十分にある。私自身、臨床現場で得られた貴重な経験をもち、より安全性、信頼性の高い機器、システムの開発に取り組んできたが、その時に必ず新たな技術と人との出会いを経験している」と述べた。

企業53社、3団体、1県が出展。施設用機器や治療用機器、手術用機器、鋼製小物、眼科用品、衛生材料、医療情報機器、保守管理用機器、病院設備機器など各社自慢の最新医療機器を展示した。

「今回はテーマ展示として、オールジャパンによる手術室・ICU機器の共同展示を行う。通常の展示と違い、手術室、ICUで使用されている医療機器を一堂に集め、実際にどのように使われているか、また機器間の相互

品開発の成果のうち、横差し型テーブルタップを紹介して「私が関わった産学連携でも普及しているものが横差し型テーブルタップになる。従来のテーブルタップは差込口が上向きのため、上から薬液などが落下すると差込口からタップ内に液が侵入し、短絡事故の可能性があった。そこで、差込口をタップ側面に配置することで、これを防ぐことを考案した。本製品は明工社から市販され、広く医療現場で使用されている」と解説した。

文科省は学習指導要領の改訂で、アクティブラーニングを取り入れることになった。アクティブラーニングとは子どもが教師から一方的に教えられるのではなく、自ら進んで能動的に学習する、というところである。これは「はて、どこかで聞いたような」と思われた方もいるのでは。その通り、かつて大失敗した、あの『ゆとり教育』の理念がこれである。ゆとり教育がもたらした悲劇の結末は、ここで改めて述べたまでもない。その結果は惨憺さんたるものであった▼アクティブラーニングは、ゆとり教育の亡霊である。教育現場に、あれほど大きなダメージを与えておきながら懲りもせず、また同じ過ちをくり返すということか▼ただ、誤解なきように、アクティブラーニングに反対する両断者であるが、基礎学力が備わっていない大学生への導入には大賛成だ▼そもそも、アクティブラーニングは、大学教育の改革をめざして始められた。いわゆる、詰め込み教育型の大学教育は改革しなければならぬ。研究課題を与えるのは、大学本来の教育であろう▼と、つてはみたものの、世は学生の質の劣化が著しい学歴インフレ時代である。無理な注文かもしれない▼ともあれ、子ども中心主義により、再び学校現場が「活動あつて学習なし」に戻る悪夢だけは避けたい。

機能性の高さを再確認しながら興味深く見学していた。

なお、テーマ展示は日本医療機器工業会との共催展示で、今後とも両団体は連携しながら、多種多様な展示スタイルを模索し、メディカルショーの活性化に向けた活動を行っていく。

また、医療機器産業への参入をめざす、ものづくり企業の展示のつくり企業の展示会『医療用機能・要素部品パビリオン』(2面に掲載)には、東北地方をはじめ、静岡県や群馬県、新潟県、東京都からものづくり企業35社が出展した。出展各社は医療機器に活用可能な要素部品や技術力を来場者にPRした。

そのほか、恒例の日本医療機器資料保存協会による特別展示「医療機器歴史資料展」には、印西市立印刷医科器械歴史資料館の歴史的に貴重な医療器械数十点が展示され、来場者の注目を集めていた。

## フタバ替刃メス フタバランセット

株式会社フタバ  
東京都文京区本郷3-17-14  
TEL: 03-3814-0111 FAX: 03-3814-0135

## MS-LD GRID

■ 中間物質に新素材(ファイバー)を採用した事で、従来のアルミグリッドと比較して約15%の線量低減を実現(撮影条件により異なります)

■ 従来グリッド無しで撮影していた部位においてMS-LDグリッドを使用する事で、より鮮明な画像を実現

■ 線量低減、耐久性向上を図るために被覆材をカーボンとし、更にグリッド保護を目的としてステンレス製フレーム(フル枠)またはキャップ型フレームを標準装備

三田屋商事株式会社  
〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-12 TEL: 049(298)8017(代) FAX: 049(298)8016  
株式会社三田屋製作所  
TEL: 049(225)1981(代) FAX: 049(225)7485 ISO9001認証(JQA-QM4013) ISO13485認証(JQA-MD0026) (株式会社三田屋製作所)  
<http://www.mitaya.co.jp/>

## 内視鏡下耳科手術関連機器

# TEES

Transcanal Endoscopic Ear Surgery

日本の技術を世界へ  
安全で有効な医療のために、  
患者と技術の手を感覚でつなぐ

第一医科株式会社  
本社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-16 Tel 03-3814-0111 Fax 03-3814-0135  
大阪支店 〒534-0027 大阪府豊島区中野町4-8-10 Tel 06-6351-0111 Fax 06-6351-0106  
名古屋支店 〒467-0856 名古屋市中区新栄2-26-26 Tel 052-882-3991 Fax 052-882-3992  
DAICHI MEDICAL CO.,LTD. [www.first-med.co.jp](http://www.first-med.co.jp)